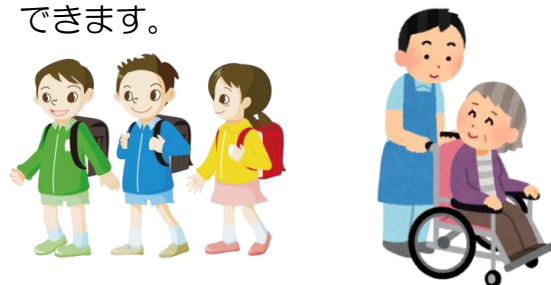


鉄道立体化の整備効果

鉄道立体化により、踏切が除却され、鉄道で分断された市街地の一体化や、交通基盤の強化を図ることができます。



鉄道立体化されたあとの、土地や空間に、駅前広場や駐輪場、歩行者専用スペースなどの公共施設を整備することで、駅周辺の利便性を高めることができます。



鉄道立体化されたあとの、土地や空間に、商業施設などを整備することで、まちの賑わいを創出することができます。



鉄道立体化に関するアンケート調査について ～ご協力をお願いします～

令和元年12月 小平市都市開発部道路課

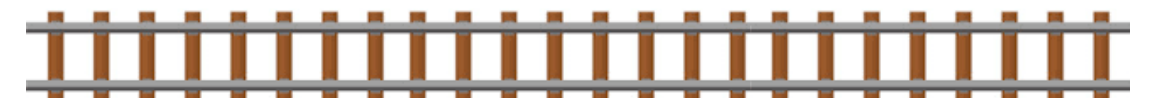
◎調査票にご記入いただく前に、こちらの資料をご一読ください。

日頃より、小平市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

平成16年6月に東京都が策定した踏切対策基本方針では、西武新宿線の田無から花小金井駅付近が、「鉄道立体化の検討対象区間」として抽出されています。鉄道立体化は東京都の事業ですが、実現すれば、花小金井駅周辺の小金井街道や青梅街道などの踏切が除却される見込みであり、渋滞の解消や地域の一体的なまちづくりが期待できます。

このたび、花小金井駅周辺にお住まいの皆さまのご意見を幅広く伺い、より良いまちづくりを進めるうえでの参考にさせていただくために、鉄道立体化に関するアンケート調査を実施することとなりました。

お忙しいところ恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



【問い合わせ先】

小平市 都市開発部 道路課 都市計画道路担当

TEL 042-346-9828 (直通) FAX 042-346-9513

E-mail dh0030@city.kodaira.lg.jp

花小金井駅周辺の鉄道立体化について

◎鉄道立体化とは

鉄道立体化（連続立体交差事業）は、市街地において道路と交差している鉄道を一定区間連続して立体化を行い、多数の踏切の除却や新設交差道路との立体交差を一挙に実現する都市計画事業です。

この事業は東京都が事業主体となり、地元市や鉄道事業者が相互に連携をしながら施行しており、次のような効果があります。

<鉄道立体化によるまちづくりの効果>

- 数多くの踏切が同時に除却されるため、踏切遮断による交通渋滞及び踏切事故が解消できます。
- 鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、総合的なまちづくりによる都市の再生、活性化に強いインパクトをあたえます。
- 立体化に伴い新たに生み出される、土地や空間を周辺の土地利用計画等に合わせ、自転車駐輪場や公園等の多目的な形で利用できます。
- 鉄道輸送の安全性の向上、踏切経費の節減、輸送力の増強等に寄与します。



◎花小金井駅周辺地区の状況

花小金井駅は、市内で最も乗降客数が多く、駅前広場や周辺の道路などの都市基盤施設とともに、商業施設、集合住宅や図書館などの公益施設が整備され、都市機能の集積した魅力的なまちとして、市民の皆さまに利用されています。

一方で、駅周辺の小金井街道などの踏切は、「鉄道立体化の検討対象区間」（右図参照）に抽出されているものの、実現には至っていないため、慢性的な渋滞を発生させ、地域を分断させるなど、まちの一体的な発展の支障となっています。

鉄道立体化が実現すれば、小金井街道や青梅街道などの5箇所の踏切が除却される見込みです。また、駅周辺では小平3・3・3号線が優先整備路線に選定されており、将来的には、幹線道路整備や鉄道立体化による、さらなる魅力的なまちの形成が期待されています。

検討対象区間の踏切の状況

1 (青梅街道)



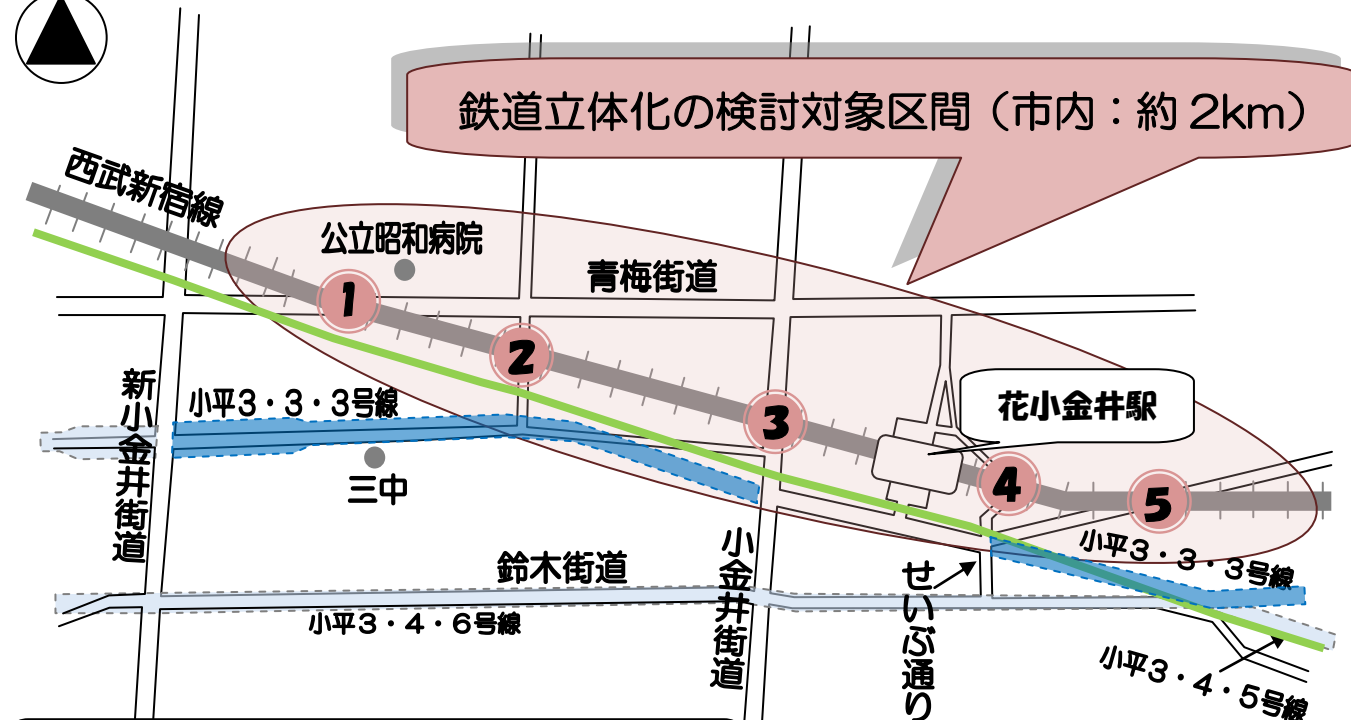
2 (小平武道館前交差点の南)



3 (小金井街道)



<案内図>



- 凡例 -
- 踏切
 - 多摩湖自転車歩行者道
 - 都市計画道路 (優先整備路線) ~東京都施行~
 - 都市計画道路 (都市計画決定のみ)

優先整備路線とは、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、平成28年度から令和7年度までの10年間で、優先的に事業着手する路線として選定された都市計画道路です。

4 (せいぶ通り)



5 (都道132号:至西東京市)

